

授業概要

幼児期や小学校「生活」は遊びや体験のなかにある子どもの学びや育ちを見出し育てている。このような発達段階の子どもの「学び」をとらえ、支援や指導の在り方を講義する。具体的には活動場面の映像の分析や戸外でのフィールドワーク、製作、表現活動など具体的な活動を通して環境構成や学習材の吟味や働きかけなどを講義する

授業計画

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 第 1 回  | 子ども時代の体験の価値                  |
| 第 2 回  | 身近な春の自然とのかかわり 探検・遊び          |
| 第 3 回  | 観察・表現 「春の花図鑑」づくり 情報機器の活用     |
| 第 4 回  | 子どもの空間認識 子どもが見ている世界          |
| 第 5 回  | ひと・もの・こととのかかわり ～わたしの「原風景」を探る |
| 第 6 回  | 「遊び」の中にある「学び」 ～砂場の事例から       |
| 第 7 回  | 遊びが育てる力 幼稚園 映像分析①            |
| 第 8 回  | 遊びが育てる力 幼稚園 映像分析②            |
| 第 9 回  | 遊びが生まれるとき ～身近にある素材とかかわる      |
| 第 10 回 | ワークショップ ～動くおもちゃをつくる・遊ぶ・伝え合う  |
| 第 11 回 | ワークショップ ～絵本を創る               |
| 第 12 回 | 試行錯誤・創造的思考～非認知能力を育てる         |
| 第 13 回 | おもちゃの絵本を活用したブックトーク           |
| 第 14 回 | 幼児と1年生の交流から生まれる相互の学び合い       |
| 第 15 回 | I T時代における子ども・幼児期の発達課題        |
| 第 16 回 | 定期試験                         |

到達目標

- ・遊びや体験の価値について理解し、発達段階を踏まえた、環境構成や指導・支援を考えることができる。
- ・身近な事象と関わることを通して、目標の達成に向けて適切な素材を吟味したり学習活動を工夫したりすることができる。
- ・領域「環境」と小学校「生活」の目標を理解し、学びが連続していることを理解する。

履修上の注意

- ・各回の授業内容は連続性をもたせているため、欠席の場合には、授業内容や課題の把握を行い、授業に支障がないよう対応すること。

予習・復習

- ・予習：提示された課題については準備して授業に臨むこと
- ・復習：学んだことを資料等の再構成により整理し、まとめること。

評価方法

|           |     |         |     |       |     |
|-----------|-----|---------|-----|-------|-----|
| 課題作成、レポート | 30% | 授業への参加度 | 30% | 定期テスト | 40% |
|-----------|-----|---------|-----|-------|-----|

テキスト

「幼稚園教育要領解説」 文部科学省 平成 30 年3月版  
必要に応じて、資料として配布したり紹介したりする